

2026年度　総合どうぶつ専攻　シラバス1					
授業名	愛玩動物学	学年	1年後期	単位数	2単位
授業目的	愛玩動物について理解する				
授業概要	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理方法について理解する。				
教科書	愛玩動物看護師の教科書　第6巻(緑書房)	成績評価	学校の基準に準じる		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の資料を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	岩崎　忍	実務経験	あり		
実務内容					

前 期		後 期	
1		1	代表的なエキゾチックアニマル動物の種類と特徴、生態について
2		2	ウサギについて①
3		3	ウサギについて②
4		4	ウサギについて③
5		5	フェレットについて①
6		6	フェレットについて②
7		7	ハムスターについて①
8		8	ハムスターについて②
9		9	モルモットについて
10		10	チンチラについて①
11		11	チンチラについて② シマリスについて
12		12	爬虫類について①
13		13	爬虫類について②
14		14	鳥類について
15		15	期末試験・解説
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス2					
授業名	適正飼養指導論	学年	1年後期	単位数	2単位
授業目的	適正飼養指導について理解し、愛玩動物飼養管理士の2級の取得と動物愛護社会化検定の合格を目指す				
授業概要	愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。				
教科書	愛玩動物看護師の教科書 6巻(緑書房) 愛玩動物飼養管理士2級 教本1巻.2巻	成績評価	学校の基準に準じる		
備考	事前学習の内容：参考として、毎週事前に授業内容に該当する部分の教科書を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後				
担当教員	中村 美里 東 香織	実務経験	あり		
実務内容					

前 期		後 期	
1		1	愛玩動物の適正飼養の目的、概念
2		2	愛玩動物飼育の現状
3		3	愛玩動物によって人間が受ける恩恵と問題点
4		4	愛玩動物の飼育のニーズや目的
5		5	グリーフケアとペットロス
6		6	適正飼養に関する支援の目的と活動
7		7	動物取扱業者における適正飼養
8		8	愛玩動物の過剰繁殖の問題と対策
9		9	災害時の同行避難の重要性、愛玩動物とその飼
10		10	災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物 看護師の役割
11		11	動物愛護週間の役割と実施状況
12		12	犬・猫の取引き及び負傷動物などの収容並び に処分の状況
13		13	動物による事故の内容と報告状況
14		14	動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推 進員・協議会の役割
15		15	期末試験期末試験の返却・解説□
16		16	
17			

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度　総合どうぶつ専攻　シラバス3					
授業名	人と動物の関係学	学年	1年前期	単位数	2単位
授業目的	人と動物の調和に関わることを学ぶ				
授業概要	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態と課題等を含めて理解する。				
教科書	愛玩動物看護師の教科書　第6巻(緑書房)	成績評価	学校の基準に準じる		
備考	各回につき、予習復習として授業外学習を行う。				
担当教員	安部、金井	実務経験	あり		
実務内容					

前 期		後 期	
1	人間動物関係学とは	1	
2	人と動物の関わり	2	
3	動物の飼育・利用の歴史	3	
4	人と犬の関係	4	
5	人と猫の関係	5	
6	人と馬の関係	6	
7	人と伴侶動物の新たな関係	7	
8	欧米と日本の動物観、動物との関わりの相違	8	
9	動物の飼養と利用の現状	9	
10	人間の動物と愛玩動物の関わり	10	
11	動物介在活動	11	
12	動物介在療法	12	
13	動物介在教育、学校飼育動物について	13	
14	まとめ	14	
15	期末試験・解説	15	
16		16	
17			

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度　総合どうぶつ専攻　シラバス4					
授業名	動物学Ⅰ（動物行動学）	学年	1年後期	単位数	2単位
授業目的	動物の行動と心理を理解・尊重し、人と犬が幸せに共生することを学ぶ				
授業概要	動物行動学および行動分析学と主とし、動物の行動の進化、行動の発達、行動のレパートリー、行動の原理、行動療法、アニマルウェルフェアなど				
教科書		成績評価	学校の基準に準ずる		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の資料を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	三神渚紗	実務経験			
実務内容					

前 期		後 期	
1		1	動物行動学、行動分析学の基本概念
2		2	行動の進化、家畜化、オオカミと犬
3		3	動物のコミュニケーション行動と感覚世界
4		4	情動と行動に影響する生理物質
5		5	行動の発達
6		6	生得的行動と習得的行動、行動レパトリー
7		7	アニマルウェルフェア
8		8	ボディランゲージ
9		9	学習の原理①馴化、鋭敏化、脱感作
10		10	学習の原理②レスポナント条件づけ
11		11	学習の原理③オペラント条件づけ
12		12	学習の原理④3項随伴性
13		13	問題行動と行動療法
14		14	比較認知科学
15		15	試験・解説
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス5					
授業名	比較動物学	学年	1年前期・後期	単位数	2
授業目的	犬猫以外の動物や生物学全般の学習を通して、生き物に対しての知見を深める。				
授業概要	本授業では、生物学的な視点から野生動物の生態系を概説するとともに、人間社会と犬の関わりの歴史を多角的に考察します。生物史という壮大なスケールから、文化史という人間社会の側面までを横断的に学ぶことで、人と動物の共生社会における専門的な知見と、動物福祉に対する正しい理解を身につけることを目的とします。				
教科書	なし	成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考					
担当教員	佐藤駿人	実務経験	あり		
実務内容					

前 期		後 期	
1	オリエンテーション	1	吠えとは①
2	北海道の生物	2	吠えとは②
3	地球・生命の誕生と進化	3	犬の眼①
4	地球・生命の誕生と進化	4	犬の眼②
5	地球上の生物	5	犬と人の関係①
6	生命の誕生	6	犬と人の関係②
7	生物の同定	7	グループワーク
8	エディアカラ動物群・カンブリア紀	8	グループワーク
9	恐竜	9	グループワーク
10	恐竜	10	グループワーク
11	進化とは	11	発表
12	動物の分類	12	発表
13	動物の分類	13	野生動物学 生物多様性、条約
14	ヒトの進化	14	野生動物学 絶滅危惧種
15	テスト・解説	15	テスト・解説
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度　総合どうぶつ専攻　シラバス6					
授業名	動物学Ⅲ（犬種学）	学年	1年前期	単位数	2単位
授業目的	各グループ、犬の歴史、各犬種の特徴など学ぶ				
授業概要	多くの犬種の知識を得て、各犬種の違いを知る				
教科書	犬種図鑑	成績評価	学校の基準の準ずる。		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の教科書を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	三神　渚紗	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1	自分の好きな犬種、理由を発表	1	
2	犬の歴史	2	
3	狼の狩猟手順	3	
4	頭部、尾、耳他の違い	4	
5	被毛について	5	
6	第1グループ	6	
7	第2グループ	7	
8	第3グループ	8	
9	第4グループ	9	
10	第5グループ	10	
11	第6グループ	11	
12	第7グループ	12	
13	第8グループ	13	
14	第9グループ・第10グループ	14	
15	試験・解説	15	
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス7					
授業名	動物学Ⅲ（生活環境学）	学年	1年後期	単位数	2単位
授業目的	人とペットの共生のために必要な知識を理解する				
授業概要	ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備及び管理運営の方法、リスクアセスメントやマナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。				
教科書	愛玩動物看護師の教科書 第6巻(緑書房)	成績評価	学校の基準に準じる		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の資料を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	安部、金井	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1	動物環境整備について	1	
2	ペットツーリズムについて	2	
3	ドッグランの環境整備・管理の方法について	3	
4	保護収容施設について（見学）	4	
5	保護収容施設について（見学）	5	
6	ペットの教育・訓練施設について	6	
7	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興について	7	
8	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等について	8	
9	動物介在教育施設について	9	
10	ペット飼育のマナーについて	10	
11	ペット飼育の事故やけがのリスクへの対応について	11	
12	ペット保険について①	12	
13	ペット保険について②	13	
14	ペット保険について③	14	
15	期末試験・解説	15	
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度　総合どうぶつ専攻　シラバス8					
授業名	動物健康管理学	学年	1 年前後期	単位数	2 単位
授業目的	健全な犬、猫に必要な健康管理と適正飼育法を修得する				
授業概要	犬猫の適切な飼育管理法を学ぶとともに、健康管理について飼い主様にアドバイスできるような知識を修得する。				
教科書	犬のヘルスケア入門	成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の教科書を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	東　香織	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1	健康管理学とは	1	動物の愛護及び管理に関する法律①
2	犬の健康管理	2	動物の愛護及び管理に関する法律②
3	犬の飼育管理と飼養環境づくり	3	エキゾチックアニマルについて
4	猫の健康管理	4	フィラリア①
5	デンタルケア	5	フィラリア②
6	犬の歴史	6	猫のワクチン①
7	猫の歴史	7	猫のワクチン②
8	猫の飼育管理と飼養環境づくり	8	不妊手術について①
9	狂犬病について	9	不妊手術について②
10	衛生管理	10	内部寄生虫について
11	栄養管理①	11	外部寄生虫について
12	栄養管理②	12	カルテ管理について
13	犬のワクチン①	13	スキンケア
14	犬のワクチン②	14	小テスト 復習 まとめ
15	試験・解説	15	試験・解説
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス9					
授業名	社会実務	学年	1年前後期	単位数	2単位
授業目的	就職活動に対する社会人としての心構え、内定に向けた準備を整える				
授業概要	個別面談、履歴書作成（自己PRや志望動機）、面接練習等を行っていく				
教科書		成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考					
担当教員	三神、田口	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1	自己紹介 今後の授業について	1	実習について
2	学習案内説明	2	実習について
3	個別面談	3	志望動機について
4	個別面談	4	志望動機作成
5	個別面談	5	履歴書用意
6	社会人としてのマナー	6	履歴書用意
7	社会人としての常識	7	面接練習
8	社会人としての心得	8	面接練習
9	自己分析	9	実習後の面談
10	自己PR作成	10	実習後の面談
11	履歴書の説明、練習	11	実習先について面談
12	履歴書の練習（下書き）	12	実習先について面談
13	履歴書の練習（本書き）	13	履歴書作成
14	実習先について面談	14	履歴書作成
15	試験・解説	15	試験・解説
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス10					
授業名	飼育管理実習	学年	1年前後期	単位数	4単位
授業目的	学内犬の飼育管理を行うことで、健康管理、清掃意識、衛生管理、しつけなどについて総合的に学ぶ。				
授業概要	実技を中心とした演習				
教科書	なし	成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考	汚れても良い、動きやすい服装を用意すること				
担当教員	東、三神、佐藤、水間、田口、中村	実務経験	あり		
	事前学習の内容：授業計画に示した実習資料の内容を熟読し、事前の予習をする。事後学習の内容：授業後に教員からのフィードバックを受け次の授業では改善するよう努める				

前 期		後 期	
1	飼育管理実習の注意事項	1	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
2	犬舎管理の仕方	2	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
3	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	3	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
4	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	4	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
5	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	5	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
6	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	6	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
7	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	7	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
8	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	8	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
9	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	9	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
10	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	10	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
11	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	11	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
12	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	12	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
13	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	13	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
14	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	14	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
15	校内実習犬の健康管理・犬舎管理	15	校内実習犬の健康管理・犬舎管理
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス11					
授業名	資格対策	学年	1年前後期	単位数	2単位
授業目的	愛玩動物飼養管理士2級取得を目指し座学授業を行う。				
授業概要	愛玩動物飼養管理士資格試験終了後、動物愛護社会化検定基礎級試験対策授業を行う。				
教科書	愛玩動物飼養管理士2級 1巻、2巻	成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の教科書を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	東 香織	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1	愛玩動物飼養管理士資格対策	1	愛玩動物飼養管理士資格対策
2	愛玩動物飼養管理士資格対策	2	愛玩動物飼養管理士資格対策
3	愛玩動物飼養管理士資格対策	3	愛玩動物飼養管理士資格対策
4	愛玩動物飼養管理士資格対策	4	愛玩動物飼養管理士資格対策
5	愛玩動物飼養管理士資格対策	5	愛玩動物飼養管理士資格対策
6	愛玩動物飼養管理士資格対策	6	愛玩動物飼養管理士資格対策
7	愛玩動物飼養管理士資格対策	7	愛玩動物飼養管理士資格対策
8	愛玩動物飼養管理士資格対策	8	愛玩動物飼養管理士資格対策
9	愛玩動物飼養管理士資格対策	9	動物愛護社会化検定資格対策
10	愛玩動物飼養管理士資格対策	10	動物愛護社会化検定資格対策
11	愛玩動物飼養管理士資格対策	11	動物愛護社会化検定資格対策
12	愛玩動物飼養管理士資格対策	12	動物愛護社会化検定資格対策
13	愛玩動物飼養管理士資格対策	13	動物愛護社会化検定資格対策
14	愛玩動物飼養管理士資格対策	14	動物愛護社会化検定試験
15	試験・解説	15	試験・解説
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度　総合どうぶつ専攻　シラバス12					
授業名	接遇マナー	学年	1年前後期	単位数	2単位
授業目的	社会人としてのマナーを身につける				
授業概要	実技を中心とした演習				
教科書	動物専門学校生・トリミングスクール生のためのコミュ	成績評価	学校の基準に準ずる		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の教科書を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	黒須	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1	目指す業界でのコミュニケーションと社会人マナーについて	1	服装のマナー
2	教科書（P18～23）立ち居振舞いと第一印象	2	スーツの着こなし
3	教科書（P24,25）言葉遣い	3	身だしなみについて（ヘア、メイク）
4	教科書（P 28～45）伝える力	4	立ち居振舞い（実技）
5	教科書（P48～50）職場での振舞い	5	立ち居振舞い（実技）
6	教科書（P80,81）アポイントメントの取り方	6	手紙の書き方
7	電話応対	7	手紙の書き方
8	電話応対（実技）	8	会食のマナー
9	電話応対（実技）	9	お宅への訪問のマナー
10	電話応対（実技）	10	お宅への訪問のマナー
11	教科書（P94～99）仕事の進め方	11	お宅への訪問のマナー（実技）
12	教科書（P102～109）ビジネス文書	12	お宅への訪問のマナー（実技）
13	来客応対	13	教科書（P58～73）就職活動について
14	実技（立ち姿勢・お辞儀）	14	教科書（P58～73）就職活動について
15	期末試験（実技）（立ち姿勢・お辞儀・歩き方）	15	期末テスト（模擬面接）
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス13					
授業名	トリミング実習	学年	1年前後期	単位数	4単位
授業目的	トリミング技術を身に着ける				
授業概要	2～3人で1頭の実習を行い犬の扱い方、グルーミング作業全般を慣れさせる。 ペット業界において重要な掃除作業も習慣づけを行う。				
教科書	なし	成績評価	学校の基準に準ずる		
備考	下記担当犬種により内容を繰り返し行う				
担当教員	阿部、横山、武蔵、菊地、久保田	実務経験	あり		
	事前学習の内容：授業計画に示した実習資料の内容を熟読し、事前の予習をする。事後学習の内容：授業後に内容を復習し、トリミングカルテを作成。試験において自分の知識を確認する。				

前 期		後 期	
1	デモ①	1	グルーミング犬種別トリミング練習（ハサミの持ち
2	デモ②	2	グルーミング犬種別トリミング練習
3	デモ③	3	グルーミング犬種別トリミング練習
4	準備・掃除・トリミングの流れ下準備・シャンプー	4	グルーミング犬種別トリミング練習
5	準備・掃除・トリミングの流れ下準備・シャンプー	5	グルーミング犬種別トリミング練習
6	下準備・シャンプー&ドライ（ハサミの持ち方練習）	6	グルーミング犬種別トリミング練習
7	下準備・シャンプー&ドライ（足裏周り／肛門周り）	7	グルーミング犬種別トリミング練習
8	下準備・シャンプー&ドライ（足裏周り/肛門周り/ヒゲ）	8	グルーミング犬種別トリミング練習
9	下準備・シャンプー&ドライ（足裏周り/肛門周り/ヒゲ）	9	グルーミング犬種別トリミング練習
10	グルーミング犬種別トリミング練習	10	グルーミング犬種別トリミング練習
11	グルーミング犬種別トリミング練習	11	グルーミング犬種別トリミング練習
12	グルーミング犬種別トリミング練習	12	技術向上時間短縮
13	グルーミング犬種別トリミング練習	13	技術向上時間短縮
14	グルーミング犬種別トリミング練習	14	技術向上時間短縮
15	試験（筆記とウィッグでのハサミの試験）解説	15	試験（ペアで半分ずつ足裏周り・肛門周り・ヒゲまで）
16		16	
17			

※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス14					
授業名	しつけ	学年	1年前後期	単位数	4単位
授業目的	基礎訓練技術を身に付ける				
授業概要	担当犬をつけ訓練の基礎を学ぶ				
教科書	なし	成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考	動きやすい服装、汚れても良い服装、気温や気候によって涼しい、暖かい格好で受けること。スニーカーを用意すること。校外で行う授業となる。				
担当教員	高坂愛由花/田中尚子	実務経験	あり		
	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の資料読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜トレーニングすることでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				

前 期		後 期	
1	訓練とは	1	CD I のトレーニング
2	エアトレーニング	2	CD I のトレーニング
3	コミュニケーションをとる	3	CD I のトレーニング
4	脚側行進、歩く練習	4	CD I のトレーニング
5	停座、座らせる練習	5	CD I のトレーニング
6	フリスビー投げ練習	6	CD I のトレーニング
7	呼び戻し練習	7	CD I のトレーニング
8	脚側、停座、伏臥、称呼应各5分練習	8	CD I のトレーニング
9	脚側、停座、伏臥、称呼应各5分練習	9	CD I のトレーニング
10	脚側、停座、伏臥、称呼应各5分練習	10	CD I のトレーニング
11	抱っこ練習	11	CD I のトレーニング
12	アジリティ練習(ハの字)	12	CD I のトレーニング
13	アジリティ練習(ブラインド)	13	CD I のトレーニング
14	フリスビー投げ練習（バック、スキップ）	14	CD I のトレーニング
15	試験・解説	15	試験・解説
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			

2026年度 総合どうぶつ専攻 シラバス15					
授業名	試験対策	学年	1年	単位数	6単位
授業目的	公務員試験に合格するための知識・スキルを身につける。				
授業概要	の合格を目指して学習を進めていく。1次試験（教養試験）だけでなく、作文試験・面接試験の対策も行い、2次試験				
教科書	なし	成績評価	学校の基準に準ずる。		
備考	事前学習の内容：参考として、事前に授業内容に該当する部分の教科書を読み、内容・ポイントを把握しておくこと事後学習の内容：事後学習として適宜小テストを出すので問題を解くことでさらに理解を深める。不明な点は随時質問				
担当教員	西山（非常勤）、近間（非常勤）、佐藤（常勤）	実務経験	あり		

前 期		後 期	
1		1	ガイダンス 数的処理、人文科学・適性検査
2		2	数的処理・社会科学（政治分野）
3		3	数的処理・社会科学（政治分野）
4		4	数的処理・社会科学（経済分野）
5		5	数的処理・社会科学（経済分野）
6		6	数的処理・人文科学（日本史）
7		7	数的処理・人文科学（日本史）
8		8	数的処理・人文科学（世界史）
9		9	数的処理・人文科学（世界史）
10		10	自然科学・人文科学（地理）
11		11	自然科学・人文科学（地理）
12		12	自然科学・人文科学（英文・現代文）
13		13	自然科学・人文科学（英文・現代文）
14		14	自然科学・人文科学 テスト対策授業
15		15	期末試験・解答返却・解説
16		16	
17			
※習熟状況などにより授業展開が変わることがあります			